

リーダー(指導者)の心得

リーダーとは組織やチームを率いて方向性を示す役割を果たす人物で、コミュニケーション能力、問題解決能力、意思決定能力など様々なスキルが求められます。更にチームの目標達成に向けてメンバーを導く役割を担っており、とるべき姿勢はビジョンを持ち、他者を鼓舞し信頼関係を築くことが大切です。

リーダー(指導者)の心得についてどこの企業、団体も様々な内容を教示、伝授していただいていると思いますが、私はパナソニック出身なので、松下幸之助 創業者の教えが身体にしみ込んでいます。創業者の書籍も手元に沢山ありますので、今回はその中の一冊「指導者の心得」から紹介します。

松下幸之助 「指導者の心得」

- ① 志を立てる (仕事の意義と意味を掴む)
- ② 好きになる (興味が熱意と工夫を生む)
- ③ 自らを知る (自分の力・相手の力・自然の理を知る)
- ④ 衆知を集める (多くの人々の知恵を集める)
- ⑤ 訴える (繰り返し訴える)
- ⑥ まかせる (徹底してまかせる)
- ⑦ 要望追求する (成功するまでやらせる)
- ⑧ 叱る・ほめる (寛厳自在・信賞必罰)
- ⑨ 責任を自覚する (原因・責任は常に内にある)
- ⑩ 部下に学ぶ (指導しつつも教わり学ぶ)
- ⑪ 愛嬌 (誰もがそばに寄りたくなるような魅力ある表情。
人が集まることで情報が集まり、衆知を集められる)

ひとつひとつ分かり易い表現ですが、ここでは4番目の「衆知を集める」について、私自身が行っていることを披露いたします。

ご存知のとおり人には得て不得手があり、様々な知識の濃い薄い、経験の浅い深い、勉強不足やネットワーク不足等があり、様々な問題・課題について自分の会社や組織内で解決が難しく、なかなか対処し辛い事があります。

そこで現役時代40歳過ぎの頃から、各業界の異業種交流会に参加しネットワークを広げ、多い時には10ヶ所ほどの交流会に参加し、そこで得た情報や人脈から様々な課題・問題の解決を図り、補ってきました。

定年退職後は高齢者・介護業界のコンサルティングや研修・講演などを行うCSねっと企画合同会社を起業し、この業界の異業種交流会「生き生き倶楽部」を関東と関西で立ち上げ活動しています。

会の趣旨に賛同いただき参加して頂いた方々は東西で600名以上おられ、皆さんから活発な情報交流やコラボレーションの動きが報告され、更には東西交流も活発です。

文字通り「衆知を集める」ひとつのきっかけの場となっています。

生き生き倶楽部の活動に興味をお持ちいただけましたら、CSねっと企画のHPに情報を掲載していますので、下のURLから御覧ください。

ご参加いただき情報収集や様々な問題解決の一つの方法として、活用していただきたいと思っています。

生き生き倶楽部	趣旨・概要	https://csnet-kikaku.jp/exmeeting.html
生き生き倶楽部	活動状況	https://csnet-kikaku.jp/report.html



長嶺 堅二郎

